

令和4年度 多摩市立 和田中学校 学校評価書

学校教育目標	
1 じょうぶな体をもった生徒 2 深く考え、すすんで実践する生徒（重点目標） 3 感受性豊かな生徒の育成	
目指す学校像(学校経営ビジョン)	
1 生徒が意欲をもち、充実した学びを実現するとともに、豊かな心を醸成する学校 2 持続可能な社会の実現に向けた生徒の資質・能力を育む学校 3 保護者から信頼され、わが子を通わせたいと思われる学校 4 教職員が健康で明るく、活気にあふれ、人とつながりながら働き甲斐を感じる学校 5 地域と連携し、理解・協力・信頼を得ながら、体験活動を通して主体的に学べる学校 6 研修を積みながら、生徒・教職員がともに伸びる学校	
目指す子供像	目指す教師像
1 主体的に考え、積極的に実生活に生かそうとする生徒 2 創造しながらよりよく行動しようとする生徒 3 自他の生命を尊重し、心豊かで思いやりのある生徒 4 正しく判断し、粘り強く行動できる生徒 5 健康や体力、生活習慣の向上を目指して実践できる生徒	1 生徒・保護者に寄り添い、信頼関係を築ける教師 2 質の高い授業を目指し、学び続けようとする教師 3 組織の一員として、学校や地域に貢献できる教師

Ⅰ 自己評価結果と学校関係者評価の状況

(1) 確かな学力の育成

重点目標	自己評価		学校関係者評価
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	評語	現状の分析と改善策	評語 学校運営連絡協議会委員の意見
学力の定着 学力調査 都平均以上	4	都平均を国語-1、数学+5、理科+3(全国学力調査)	A
分かり易い授業 生徒アンケート肯定的評価 85%以上	3	肯定的評価86.5% タブレットが効果的に授業に活用されている。	A
ESD 教育の推進	4	ESD の柱を「環境教育」と定め、「多摩市子ども未来会議」で発表した。	A
評価のまとめ	落ち着いた学習環境が、学力の結果につながっている。タブレットを活用した授業については、市内中学校の中でも、先行していると感じる。ESD については、本年度より、学校として取り組む柱を「環境教育」と定め、取り組みを推進し、「多摩市子ども未来会議」では、本校代表生徒が、提言をまとめる役割を担った。		

【評語について】

自己評価			学校関係者評価	
評語	達成状況	成果指標	評語	自己評価の適切さ
4	申し分なく達成した	90%以上~100%	A	適切である
3	おおむね達成した	70%以上~90%未満	B	おおむね適切である
2	やや下回った	40%以上~70%未満	C	適切でない
1	大きく下回った	40%未満	D	評価は困難である

(2) 豊かな心の育成

重点目標	自己評価		学校関係者評価
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	評語	現状の分析と改善策	評語 学校運営連絡協議会委員の意見
落ち着いた雰囲気 保護者アンケート肯定的評価 85%以上	4	肯定的評価91% 落ち着いた学校環境が保たれている。	A
学校に行くのが楽しい 生徒アンケート肯定的評価 85%以上	3	肯定的評価83% 生徒にとって居心地のよい学校環境を維持、向上していきたい。	A
いじめへの対応 早期対応により 未解決「0」	4	いじめとしての認知は19件、うち12件は1学期中に解消、7件は指導後の見守りを継続中である。	A
評価のまとめ	落ち着いた環境が、生徒の心の安定につながっている。昨年度に引き続き、生徒の主体的な活動が活性化している。校内委員会が有効に機能し、不登校ぎみの生徒にも丁寧な対応を行っているが、不登校出現率が増加している(5.1%)。すべての不登校生徒に対応ができており、高い割合で卒業後の進路が決定している。		

(3) 健やかな体の育成

重点目標	自己評価		学校関係者評価
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	評語	現状の分析と改善策	評語 学校運営連絡協議会委員の意見
体力の向上 体力調査 都平均以上	3	2年女子を除いた各学年男女が都平均を上回った。	A
体育授業 肯定的評価 85%以上	4	「満足感や充実感をもつことができた」肯定的評価96% 充実した授業が行われている。	A
オリンピック・パラリンピック教育の成果を生かした体育・健康教育の充実 学校2020レガシーの取組の継続と充実	3	ブラインドサッカーやボッチャを、体育の授業や学年の時間に行った。	A
評価のまとめ	保健体育の授業や体育大会には、多くの生徒が前向きな姿勢で取り組み、体力向上のみならず、自己肯定感の伸長にも大きな役割を果たしている。部活動にも多くの生徒が参加し、活発に行われている。3学期より、昼休みのボールの貸し出しを再開し、スポーツに親しむ機会を増やした。		

(4) 家庭や地域との連携

重点目標	・家庭との連携強化による健全育成の推進 ・学校地域協働体制の推進			
評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営連絡協議会委員の意見
HP や学校だより等による「情報発信」について 肯定的評価80%以上	4	肯定的評価95% 「開かれた学校」に向け、情報提供を行っている。	A	・肯定的評価95%、先生方のご指導に感謝します。 ・更に家庭や地域との連携が深まることを期待します。
コミュニティ・スクールとしての体制づくり 学校運営協議会 年3回開催	3	役職を設定し、年3回開催した。働き方改革等の学校課題への理解と検討を行った。	A	・今後、双方向のやり取りになることが望ましい。
地域人材を活用した教育活動の推進 保護者アンケート肯定的評価80%以上	4	伝統芸能体験を年3回実施 STUDY+ (放課後学習教室) 等の肯定的評価86%	A	・色々な体験を子どもたちにさせていただけるのはありがたい。
評価のまとめ	クリーン活動を3年ぶりに実施、多くの教職員・生徒が参加して、地域貢献を行うことができた。小学校との共同企画により、小中連携という意味でも有効であった。学校運営協議会での話し合いも、課題解決に向け実のあるものとなった。家庭への理解を更に深めていく必要性を感じる。			

2 次年度に向けた学校経営の方向性、課題等

<p>校舎の大規模改修が完了し、良好な教育環境となった。生徒は落ち着いて学校生活を送っており、生徒会を中心に、生徒の主体的な活動が活性化している。学校行事等においては、生徒の自己肯定感や自己有用感を意図的に醸成する企画となっている。本年度は3年ぶりにクリーン活動が、本校校庭で行うどんと焼きも再開された。保護者との信頼関係を更に深めるとともに、地域行事等への参加や地域清掃等の企画により、地域とのつながりを深め、地域の中の学校としての立ち位置を確立できるよう努めていきたい。</p> <p>以下の3つの力を、生徒の発達段階に応じて段階的に育成するために、組織的な学校経営のもと、意図的・計画的な教育活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 聞く力 学習や社会規範をはじめ、他者の意見や考えに素直に耳を傾け、知識を深める。 ● 考える力 知り得た知識について深く考え、正しく判断して自分のものとする。 ● 表現する力 自分の意見や考えを正しく発信するとともに、自ら進んで行動する。

以上のとおり報告いたします。

令和5年2月22日

多摩市立和田中学校 校長 伊藤 映二



令和4年度 学校評価書



多摩市立和田中学校